

日本板硝子が減損損失を計上 直ちに格付に影響せず

以下は、日本板硝子株式会社（証券コード：5202）の23/3期通期連結業績予想の修正及び減損損失の計上を発表したことについての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 当社は本日、23/3期第2四半期決算において、欧州自動車用ガラス事業におけるのれんおよび無形固定資産の減損損失488億円を計上すると発表した。これに伴い、23/3期の親会社の所有者に帰属する当期利益の予想を410億円の赤字（期初計画は40億円の黒字）に下方修正した。23/3期第2四半期末の親会社の所有者に帰属する持分は1,518億円（22/3期末1,452億円）、親会社所有者帰属持分比率は15.1%（同15.5%）となった。
- (2) 大幅な最終赤字となったが、円安の影響等による自己資本の増加により財務構成は22/3期末とほぼ同水準を維持している。また、営業利益は、販売価格改善や販売数量増で原燃料などのコスト増加を吸収し堅調に推移している。これらを踏まえ、本件は直ちに格付には影響しないとJCRでは考えている。引き続き、原燃料価格の動向、各国の景気後退懸念などの先行き不透明感が強い中で、価格改定や構造改革施策を進めて利益の改善につなげていけるか注目していく。

（担当）井上 肇・三浦 麻理子

【参考】

発行体：日本板硝子株式会社

長期発行体格付：BB+

見通し：安定的

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル